

7月号 安全に社会とつながるための SNS 支援

SNS は正しく使うと、生活を便利にしたり、新しい学びを見つけることができます。こどもが SNS に安全に向き合うには、一方的に「禁止」するではなく、リスクを理解したうえでの「対話とルールづくり」と「自立支援」が基本となります。

1. リスク(4 つ)を一緒に学ぶ

◆ 個人情報の保護

顔写真や制服、近所の風景、学校や友達の名前などを載せると、家や学校が特定されるなど予期せぬトラブルに繋がる可能性があります。自分自身で「自分の安全とプライバシー」を守りましょう。

◆ デジタルタトゥー

一度でもネットに上がった画像や言葉は、完全に消すことができません。就職の際や将来に影響する可能性があります。発信する前に一歩立ち止まって考える習慣をつけましょう。

◆ 他人への配慮

SNS で発信した情報はさまざまな人が目にします。自分が言われて嫌なことは控える。許可なく友達の写真を載せないなど他人のプライバシーを尊重しましょう。

◆ 知らない人との距離感

ネット上で優しくしてくれる人が良い人とは限りません。「なりすまし」や「詐欺」のリスクを知り、自分を守るための健全な警戒心を意識しましょう。

2. 対話とルールづくり

家庭や日常生活におけるルールづくりは、家族にご協力いただく必要があります。気になる点があれば、こどもと話し合いの時間を持つよう保護者に依頼します。

3. 自立支援

◆ 否定しない

こどもが雑談のなかで、SNS の動画やインフルエンサーなどを話題にしている場合は、「面白そうだね」と共感しながら話を聴きましょう。安心して話せる関係性がある初めて、こどもは万が一のトラブル時に SOS を出せるようになります。

◆ リアル世界の充実

SNS への依存の背景には、現実の人間関係のストレスや孤独感が少なくないと言われています。学習会という居場所があることや、いつも気にしてくれる大人がいることを伝えましょう。

◆ トラブル時の約束

「何かトラブルがあったら信頼できる大人に相談してね」と常に話しておきます。保護者や学校だけでなく、学習会スタッフあるいは必要に応じて専門の窓口相談してもよいと伝え、セーフティネットを示しておきます。